

# 令和2年度 事業報告

## 理事会・監査・評議員会等の実施状況

### 1. 変更登記等

令和2年6月1日 変更登記	主たる事務所移転
令和2年6月29日 変更登記	資産の総額の変更 資産総額 34,868,380円 (令和2年3月31日変更)

### 2. 理事会の開催

年月日	開催場所	主要議題
令和2年 6月11日(木) 午後2時開会	交流ひろば すさき2F 中会議室	<b>第1回理事会</b> (理事10人中 10人出席、監事2人中 1人出席) 第1号議案 令和元年度事業報告について 第2号議案 令和元年度法人会計収支決算について 同 監査報告について 第3号議案 令和2年度定時評議員会の開催について 報告事項 会長、常務理事の職務執行状況報告について その他について
令和2年 9月25日(金) 午前10時開会	交流ひろば すさき2F 小中会議室	<b>第2回理事会</b> (理事10人中 8人出席、監事2人中 1人出席) 第4号議案 須崎市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について 報告事項 ①会長、常務理事の職務執行状況報告について ②訪問介護事業所決算状況について(4月～8月) その他について
令和2年 12月8日(火) 午前10時開会	交流ひろば すさき1F 大会議室	<b>第3回理事会</b> (理事10人中 9人出席、監事2人中 1人出席) 第5号議案 令和2年度須崎市社会福祉協議会補正予算(第1号)について 第6号議案 令和2年度第2回評議員会の開催について 報告事項 ①令和2年度職員の期末手当について ②訪問介護事業所決算状況について(4月～8月) ③会長、常務理事の職務執行状況について その他について
令和2年 12月18日付	書面決議	<b>第4回理事会</b> (理事10人中 10人同意、監事2人中 2人同意) 第6号議案 令和2年度第2回評議員会の開催について(再) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、第2回評議員会開催を書面決議とすることについての決議
令和3年 3月3日(水) 午後2時開会	交流ひろば すさき1F 大会議室	<b>第5回理事会</b> (理事10人中 9人出席、監事2人中 2人出席) 第7号議案 令和3年度事業計画及び法人会計収支予算について 第8号議案 須崎市社会福祉協議会職員就業規程等の一部改正について ①職員就業規程 ②職員貸金規程 ③臨時職員等就業規程 ④パートヘルパー就業規程 ⑤継続雇用規程 ⑥育児休業規程 ⑦介護休業規程 ⑧マイカー通勤管理規程 ⑨マイカー業務使用規程 ⑩出張旅費規程 第9号議案 会員及び会費に関する規程の一部改正について 第10号議案 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について 第11号議案 指定訪問介護事業所運営基金規程の制定について 第12号議案 令和2年度第3回評議員会の開催について 報告事項 会長、常務理事の職務執行状況について

### 3. 監査の実施

年月日	開催場所	監査内容
令和2年 6月3日(水) 午後1時30分から	須崎市社会福祉協議会 会長室	令和元年度事業報告及び法人会計決算について監査 監事 西村貴尚、正木直夫

### 4. 評議員会の開催

年月日	開催場所	主要議題
令和2年 6月29日(月) 午後2時開会	交流ひろば すさき1F 大会議室	<b>定時評議員会</b> (評議員15人中 11人出席) 第1号議案 令和元年度事業報告について 第2号議案 令和元年度法人会計収支決算について 監査報告について その他について
令和2年 12月25日付	書面決議	<b>第2回評議員会</b> (評議員15人中 15人同意) 第3号議案 令和2年度法人会計補正予算(第1号)について
令和3年 3月24日(水) 午後2時開会	交流ひろば すさき1F 大会議室	<b>第3回評議員会</b> (評議員 15人中 12人出席) 第4号議案 令和3年度事業計画及び法人会計収支予算について 第5号議案 会員及び会費に関する規程の一部改正について 第6号議案 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正 について その他について

### 5. 正副会長会の開催

年月日	開催場所	主要議題
令和2年 6月8日(月) 午前10時から	須崎市 社会福祉協議会会長室	<b>第1回正副会長会</b> 出席者:高橋会長、大石副会長、小野副会長、中谷常務理事、 森本事務局長 協議題:①事務所の移転について ②第1回理事会について
令和2年 8月31日(月) 午前11時から	須崎市 社会福祉協議会会長室	<b>第2回正副会長会</b> 出席者:高橋会長、大石副会長、小野副会長、中谷常務理事、 森本事務局長 協議題:①働き方改革について(臨時職員等の処遇改善) ②試用期間中職員について
令和2年 9月17日(木) 午後4時から	須崎市社会福祉協議会 会長室	<b>第3回正副会長会</b> 出席者:高橋会長、大石副会長、小野副会長、中谷常務理事、 森本事務局長 協議題:①第2回理事会について ②その他報告事項について
令和2年 11月13日(金) 午後1時30分 から	須崎市社会福祉協議会 会長室	<b>第4回正副会長会</b> 出席者:高橋会長、大石副会長、小野副会長、中谷常務理事、 森本事務局長 協議題:①新規雇用者への対応等について ②令和2年度人事院勧告について ③第3回理事会について
令和2年 12月8日(火) 午前9時から	須崎市社会福祉協議会 会長室	<b>第5回正副会長会</b> 出席者:高橋会長、大石副会長、小野副会長、中谷常務理事、 森本事務局長 協議題:①第3回理事会について ②令和2年度職員採用試験について ③職員の処遇について ④臨時職員等の処遇改善の概要について
令和3年 3月1日(月) 午前10時から	須崎市社会福祉協議会 会長室	<b>第6回正副会長会</b> 出席者:高橋会長、大石副会長、小野副会長、中谷常務理事、 森本事務局長 協議題:①職員の募集について ②第5回理事会について

# 社会福祉協議会組織の充実強化

## 【目標】

社会的責任をもつ社会福祉法人としての適切な運営組織体制のもと、職員が安心して働ける環境づくりに努め、人が、人にサービスを提供する対人援助を事業展開の基本とした職場として、「住民から信頼される開かれた組織づくり」を目指します。

## 【重点目標】

- I. 適切な財務管理
- II. 労務管理の充実と業務の効率化・経費削減
- III. 財務諸表や事業内容の情報公開
- IV. 職員間の情報共有とスキルアップの場づくり

### 【目標・重点目標】に対する現状と課題

事務局規程を見直し、ガバナンス機能の強化に努めた。また、各法の改正に対応するために、就業規程等の改正、臨時職員等の処遇改善を行った。また、人材確保及び各事務事業の円滑な執行のために、有資格者の採用試験を実施した。

社協ホームページで定期的に情報を公開・更新しているが、設営が古いことや情報量が少ないことなど、充実しているとは言えないため見直す必要がある。

職員間の情報共有については、グループウェア(サイボウズ)の活用や所属長による月1回の定例会を実施しているが、更に所属を超えた情報共有・社会資源開発の協議の場を設定することが必要である。

## 1. 法人運営体制の充実・強化

社会保険労務士・税理士の指導のもと、組織の統制機能強化のため就業規程等を改正整備し、職員の労務管理の充実を図るとともに、事業経営や正確な経理事務等のチェック機能の強化を図り、適正な法人運営に努めた。

## 2. 役員会(理事・監事)、評議員会機能の充実

### (1) 理事会組織の充実

理事の経験や実績、専門性を発揮してもらえる理事会運営を基本に、法人運営の執行機関として理事の役割認識を深め、社協運営に参画する意識の向上を図った。

### (2) 評議員組織の充実

社協が地域の総意をもって地域福祉を推進するために、住民組織や地区社協、福祉に関する活動を行う団体等から適切な基準により選任された構成員による、評議員会の組織化を図った。法人にとって重要な事項を決定する議決機関としての性格を明確にし、組織の活性化を目指した。

### (3) 監査機能の充実

会計の執行状況だけでなく、事業の適正さや費用対効果などについても助言や指摘をしていただき、社協経営に活かせる監査機能づくりに努めた。

## 3. 定期的な職員会等の開催

定期的な職員会等を開催することによる、職員意識と情報を共有する仕組みづくりや、地域住民の生活課題やニーズに立脚した事業がチームとして迅速に対応できる体制づくりに努めた。

#### 4. 業務改善計画の策定

住民のための地域福祉を推進し、住民に信頼され持続可能な組織であるためには、適正な法人運営と組織の基盤強化、人材育成は必要不可欠であることから、令和3年2月に「須崎市社会福祉協議会業務改善計画」を策定。既存事務事業の見直しや評価を主眼とし、計画策定のプロセスに職員一人ひとりが参画し、計画の実行作業や取組等を通じて、職員の意識改革、人材育成、組織力強化を図りながら地域における本会の役割を果たせる体制の構築を目指した。この計画を毎年見直し作業を行うこととし、併せて組織力の向上、職員の資質向上のためにも、職員自らが業務執行目標を掲げ、定期的に計画等の進捗状況の管理を行うこととした。

#### 5. 人材の確保(職員採用試験の実施)

途中退職等により欠員となった正規職員の確保及び各事務事業の円滑な執行のために、有資格者を対象に職員採用試験(作文試験、面接試験)を3回実施した。

	第1回	第2回	第3回
実施日時	令和2年12月13日(日) 午前10時から	令和3年2月21日(日) 午後1時30分から	令和3年3月20日(土) 午後1時30分から
実施場所	交流ひろばすさき	交流ひろばすさき	交流ひろばすさき
募集人員	1人	1人	3人
応募者数	4人	3人	3人
結果	不採用	不採用	合格者3人 3人採用

#### 6. 社協会員制度の推進

社会福祉協議会の趣旨に賛同する住民組織、社会福祉施設及び団体等の「団体会員」、地域福祉活動へ関心を持つ個人及びボランティア等の「賛助(特別)会員」の加入増強を図るとともに、地域住民へ社協事業の周知・理解を図った。

##### ◆会員数と会費の実績

種別(会費額)	元年度		2年度	
	件数(件)	会費(円)	件数(件)	会費(円)
団体会員(5,000円)	30	150,000	20	100,000
特別会員(5,000円)	3	15,000	9	45,000
賛助会員(1,000円)	126	126,000	141	141,000
一般会員(500円)	17	8,500	2	1,000
計	176	299,500	172	287,000

#### 7. 共同募金・歳末たすけあい運動の推進

毎年10月1日から展開される、国民助け合い「赤い羽根」共同募金運動及び歳末たすけあい運動の高知県共同募金会須崎市支会事務局として積極的な募金活動を展開した。前年度募金実績による配分については、配分委員会を開催し、適正、公平に配分した。

##### (1)令和2年度共同募金実績

	戸別募金	大口・法人募金	職域募金	その他	計
元年度	2,224,554円	1,170,362円	56,988円	0円	3,451,904円
2年度	2,241,450円	1,144,200円	49,568円	12円	3,435,230円

## (2)歳末たすけあい運動(お年玉募金)

元年度	48,991円
2年度	41,067円

## (3)平成元年度募金実績による令和2年度事業配分

配分先	配分額(円)	
	元年度	2年度
民生委員・児童委員協議会	582,000	582,000
社会福祉協議会	1,243,964	878,517
子ども会連合会	48,000	48,000
老人クラブ連合会	77,000	297,000
青少年育成市民会議	48,000	48,000
身体障害者連合会	67,000	67,000
手をつなぐ育成会	58,000	80,000
朗読研究会	38,000	38,000
精神衛生家族会	29,000	29,000
かわうそ手話サークル	38,000	38,000
ボランティア連絡協議会	155,000	155,000
社明運動	19,000	19,000
すさきスポーツクラブ	58,000	0
招き猫の会	29,000	29,000
合計	2,489,964	2,308,517

## 8. 定期的な専門相談の実施

### 無料弁護士相談(共募配分)

毎月第3木曜日 13:00~16:10 法テラス須崎法律事務所・ひまわり法律事務所

	元年度	2年度
受付件数	55件	47件
相談件数	33件	42件

## 9. 広報啓発活動の充実

### (1)広報誌の発行(共同募金配分)

広報誌「社協だより」を年4回発行(4月・7月・10月・1月)。社協活動の啓発推進に努めた。

### (2)社協ホームページの運営

社協の基本情報や活動のPR、事業計画、事業報告及び財務諸表などを常に最新情報として発信。

## 10. 須崎市社会福祉大会の開催(市補助事業)

### 第37回須崎市社会福祉大会

開催日 : 令和3年3月30日(火) 14:00~15:00

場所 : 交流ひろばすさき1F 大会議室

#### ○社会福祉功労者等の表彰

大会長表彰 3人(民生委員・児童委員1人、施設職員2人)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催規模を縮小し表彰式典のみで実施。

## 11. 福祉用具・マイクロバス貸出事業

介護保険、支援費制度の対象外の高齢者や障害者に対し車椅子等の福祉用具を貸出し、日常生活活動の軽減、社会参加活動拡大のために実施した。また、市内各種福祉団体等の活動目的推進のためにマイクロバスの貸出を実施した。

※マイクロバス貸出については、コロナ禍のため貸出減少。

### (1) 車椅子貸与

	元年度	2年度
貸出件数(件)	62	61

### (2) マイクロバス

	元年度	2年度
貸出件数(件)	42	4
利用述べ人数(人)	871	62

## 12. 高額療養費貸付事業(市受託事業)

国保被保険者で、高額療養費支給の対象となる一部負担金の支払いが一時的に困難なものに、その費用の全部または一部を貸付けることにより、被保険者の福祉の推進と生活の安定に資することを目的とし実施した。

	元年度	2年度
貸付件数(件)	31	13
貸付金額(円)	3,247,359	2,582,601

## 13. 福祉関係諸団体との連絡調整

### 団体事務と連携

下記の団体の事務局を持ち、関係諸団体との連絡調整に努めた。

- 須崎市民生委員・児童委員協議会
- 須崎市身体障害者連合会
- 須崎市手をつなぐ育成会
- 須崎市ボランティア連絡協議会
- 須崎市老人クラブ連合会
- 地区社会福祉協議会

(上分地区・須崎地区・多ノ郷地区・吾桑地区・南地区・浦ノ内地区)

※浦ノ内地区社協については、浦ノ内地区地域自主組織が事務局。

## 地域福祉活動の推進

### 【目標】

深刻で多様な地域課題に向き合い、地域を基盤とした民生委員・児童委員、ボランティア、専門機関等との幅広い協働と連携の場づくりや解決・予防に繋がる支援やその仕組みづくりを行い「誰もが安心して暮らすことができる地域に根差した福祉のまちづくり」を目指します。

### 【重点目標】

- I. 住民主体の地域福祉活動の推進強化
- II. ボランティア人材の育成とボランティア活動の強化

#### 【目標・重点目標】に対する現状と課題

今年度は、コロナ禍のため地域福祉活動の自粛や会議の延長、事業規模の縮小等が相次ぎ、地域活動においてもさまざまな影響が生じ、限られた活動範囲の中での事業展開となり、十分な支援活動が出来なかった。

ボランティア活動の支援についても、社協の持つボランティアセンター機能が活かされておらずその機能の見直しや運営体制の整備が課題である。

新型コロナウイルスの感染リスクを避けた新しい生活様式により、これまでにない地域生活課題に対応できる活動内容や分野を超えた支援体制の検討が必要となってきた。

### 1. 地域福祉活動計画の策定と地域福祉計画への参画

#### (1) 地域福祉活動計画(地域アクションプラン)の見直し

第3期地域福祉計画とともに策定された地域福祉活動計画を具体的活動につなげていくための地域座談会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

#### ◆座談会の開催

地区	開催日	参加数	地区	開催日	参加数
上分	※	—	南	※	—
須崎	※	—	吾桑	※	—
新荘・安和	※	—	浦ノ内	※	—
多ノ郷	2月22日	15人			

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止。

#### (2) 地区社協活動の充実強化支援(市補助事業)

住民の日常的な生活圏である公民館単位において、民生委員・児童委員、福祉委員、ボランティアや地域の各種団体・組織等との連携を図り、地域における福祉ニーズの把握、福祉課題を明確にし、その課題の適切な解決を図るとともに、日常生活支援、在宅福祉サービス相談、声かけ、見守り体制の確立に努めた。

#### ◆総会の開催

地区	開催日	参加数	地区	開催日	参加数
上分	2年6月6日	13人	南	※	書面決議
須崎	2年7月20日	20人	吾桑	2年6月26日	19人
多ノ郷	2年7月7日	21人	浦ノ内	※	書面決議

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止。

## ◆小地域活動支援助成金

助成額	助成地区
各50,000円	新莊・安和、上分、吾桑、浦ノ内、南、多ノ郷、須崎

### (3)社会福祉施設及び他関係諸団体との連携

須崎福祉会、須崎事業福祉協会等福祉施設との連携を密にし、施設サービスの推進に努めた。

### 2. ボランティア育成事業の推進(市補助事業)

市内で活躍するボランティア団体・個人に対しての情報提供や活動の支援、ボランティア活動に関する相談及び各種研修会の案内等、ボランティア活動の総合窓口としてボランティアセンターを設置してはいるが、その機能及び体制が整っていないために、十分な事業推進ができなかった。

### 3. 災害ボランティアセンター運営体制の強化(市補助事業)

風水害、地震津波発生後に災害ボランティアセンターが迅速に開設、円滑な運営ができるよう、須崎市災害ボランティアセンター設置マニュアルの早急な見直し之急がれるが、見直しに至らなかった。また、日頃から関係各機関との情報共有及び連携を図り、災害ボランティアセンターの実践的な活動を推進するための模擬訓練や研修の開催を目指したが、実施には至らなかった。

## 4. 福祉教育の充実

### (1)福祉活動推進校指定事業(市補助事業)

小中学校の児童生徒に福祉活動を通じて、思いやりの心、ともに感じる心、みんなで助け合う心を育むと共に児童生徒を通じて家庭及び地域社会に対しても啓発を図ることを目的として市内13校を指定し福祉教育の推進を図った。【各校50,000円助成】

### (2)福祉体験学習(高齢者疑似体験・車椅子体験など)

	実施日	学校名・学年	参加人数
2年度	6月12日	南中学校 3年	6人
	10月5日・6日	吾桑小学校 4年	12人
	10月23日	新莊小学校 3年・4年	6人・8人
	10月29日	須崎小学校 4年	32人
	12月2日	浦ノ内中学校 1年	13人
	3月2日	安和小学校 3年・4年	4人・6人

### (3)実習生の受入

学校名	実施日(参加人数)
高知開成専門学校 看護学科	(6/5 3人)(6/12 2人)(6/19 3人) (7/3 3人)(7/17 2人)(7/31 3人)
高知県立大学 社会福祉学部	令和2年8月17日から令和2年9月17日まで 相談援助実習(社会福祉士) 研修生 1人

## 5. 地域介護予防活動支援事業(市受託事業)

要介護状態となるおそれの高い虚弱な状態にあると認められる65歳以上の者を対象とし、要介護状態等となることを予防することを通じて、一人ひとりの生きがいや自己実現のための取組を支援し、活動的で生きがいのある人生を送ることができるよう支援した。

期 間	(4月～3月)
活動場所	勤労者体育館
月間活動時間	4時間
教室対象人員(実人数)	41人
教室対象人員(延人数)	41人

## 6. 障害者地域支え合い事業(市受託事業)

在宅の心身障害児(者)が家庭において介護を受けることが出来ず、一時的に介護を必要とする場合に登録介護者に介護委託することにより利用者やその保護者の地域生活を支援することを目的とする。

	元年度	2年度
登録者数	2人	2人
登録介護者数	2人	2人
総訪問回数	30回	10回
総訪問時間数	88時間	50時間
支給額	52,800円	30,000円

## 7. 障害者社会参加促進事業(市受託事業)

### (1)事業名：生活訓練事業「パソコン教室」

目 的：在宅障害者の日常生活の向上と自立、社会参加を図ることを目的とする。

第1回		第2回	
開催日	令和2年10月12日～11月12日の間15日間	開催日	令和3年2月18日～3月24日の間15日間
場 所	高知ペットビジネス専門学校	場 所	高知ペットビジネス専門学校
参加者数	17人(前年度 17人)	参加者数	15人(前年度15人)

### (2)事業名：障害者社会参加促進事業「スポーツ・レクリエーション開催事業」

目 的：障害者スポーツの普及とスポーツを通じた交流を深め、障害者自身の健康増進を図ることを目的とする。

第1回		第2回	
開催日	令和2年9月28日(月)	開催日	令和3年3月10日(水)
場 所	スポーツ&アミューズメント ラウンドワン高知	場 所	県立障害者スポーツセンター
参加者数	12人(前年度 8人)	参加者数	7人(前年度 中止)

## 8.

### 小地域高齢者ふれあいの集いの支援(市補助事業)

各公民館、集会場を基盤とする小地域において閉じこもりがちな高齢者の孤独解消、仲間づくり、健康増進のために開催されているふれあいの集いを支援し、小地域福祉活動の推進に努めた。

地域の集い		実施回数	利用延人数
令和元年度	67か所	216回	912人
令和2年度	71か所	114回	343人

9. ふれあい給食サービス事業(市補助事業)

実施地区	令和元年度			令和2年度		
	回数(回)	人員(人)	助成額(円)	回数(回)	人員(人)	助成額(円)
多ノ郷	11	792	237,600	12	817	248,400
上分	12	414	124,200	12	519	155,700
吾桑	12	395	118,500	12	402	120,600
浦ノ内	11	799	239,700	10	800	240,000
須崎(東)	11	1,101	330,300	9	752	225,600
須崎(中)	11	766	229,800	9	680	204,000
須崎(西)	11	1,153	345,900	9	961	288,300
新庄	12	237	71,100	12	214	64,200
安和	11	44	13,200	12	57	17,100
南	10	550	165,000	11	637	188,550
計	112	6,251	1,875,300	108	5,839	1,752,450

10. 身体障害者社会参加事業(市補助事業)

障害者の方々が、積極的に各種イベントや大会へ参加できるための移動バスの借上や移動介助ボランティア等により支援することで障害者の社会参加促進を目的とする事業。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本年度事業は実施に至らなかった。

11. あったかふれあいセンター「まちなかサロン」事業(市受託事業)

市街地に地域福祉の拠点として「まちなかサロン」を設置し、地域住民だれもが気軽に集える機能に加え、高齢者の介護予防、訪問・相談・つなぎによる住民参加の見守りネットワーク構築と生活支援の仕組みづくりに努めた。本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、令和2年4月・5月の2か月間各サロンを休止し、個々のイベント等の縮小を余儀なくされた。

(1)まちなかサロン「8店会」

開所日:月～金 10時～15時

(百歳体操・かみかみ体操・保健師による健康相談・須崎警察署による防犯、防災、交通講座、作業療法士による講座・お茶会・演奏会・書道・アロマ教室・買い物支援・避難訓練・将棋交流・訪問活動など)

		高齢者	障害者	子ども	一般	合計
元年度	延人数	2,420人	666人	35人	54人	3,175人
	実人数	90人	6人	13人	17人	126人
2年度	延人数	1,572人	171人	17人	135人	1,895人
	実人数	57人	6人	11人	16人	90人

(2)まちなかサロン サテライト「しんまち」

開所日:火・木・金 10時～15時

(百歳体操・かみかみ体操・市職員による防犯教室・作業療法士による講座・避難訓練 将棋交流・華道教室・訪問など)

		高齢者	障害者	子ども	一般	合計
元年度	延人数	1,824人	17人	3人	74人	1,918人
	実人員	74人	5人	3人	35人	117人
2年度	延人数	1,798人	45人	2人	47人	1,892人
	実人員	60人	6人	2人	13人	81人

◆認知症カフェ(ささえ愛)

認知症家族が気軽に利用でき、日頃の悩みなどの相談を聞くことで悩みの解消や生活に生きがいを持てるように認知症の方の能力を生かし、役割をもっといただける場づくりとして開所。

開所日：毎月第2土曜日 13:00～15:00

		高齢者	障害者	一般	その他	合計
元年度	人員	89人	6人	14人	3人	112人
2年度	人員	59人	6人	7人	2人	73人

(3)まちなかサロン サテライト「山手町」

開所日：水曜日 12時～15時

(百歳体操・作業療法士による講座・かみかみ体操・アロマ教室・訪問など)

		高齢者	障害者	子ども	一般	合計
元年度	延人数	663人	5人	3人	12人	683人
	実人員	42人	2人	3人	10人	57人
2年度	延人数	418人	0人	5人	14人	437人
	実人員	32人	0人	5人	5人	42人

## 須崎市生活支援・総合相談センターほっと

### 【目標】

住民の多様な生活課題に対応していくために、各種事業を活用しワンストップ窓口としての機能を充実。多様な課題の中から浮かび上がる、地域課題に対してアプローチを行い、「誰もが住みやすいまちづくり」を目指します。

### 【重点目標】

- Ⅰ．総合相談センター相談支援員として、常に相談者の課題に気づける広い視点と、多様な専門機関等との支援ネットワークの構築を目指し、課題の見落としが無いことを心がけます。  
また、相談ケースに応じては、当センターのみで完結せず、関係機関との迅速で密な連絡機能を充実していきます。
- Ⅱ．相談者の課題が複雑化していく中、職員がより複雑な課題への対応ができるよう、各種研修会勉強会へ積極的に参加し、新たな知識・手法を身につけ、センター内で知識・技能を共有します。
- Ⅲ．相談者が相談先を迷うことなく、的確に相談できる窓口機能の充実を図り、市民の誰もが知るセンターを目指した広報活動を実施していきます。

#### 【目標・重点目標】に対する現状と課題

コロナ禍での活動となり、限られた範囲の中での支援活動となったが、生活福祉資金貸付事業を通じた新たな相談者とのつながりや、市民の困りごとに対する相談先として今まで以上に周知されるとともに、経済的な問題のみならず、障害分野や社会的困窮などの生活問題を抱える相談者を早期発見し、支援活動につなげていく役割が拡大できた。

障害福祉分野においても、個別支援から見えてくる地域の課題を行政と共有、検討することにより「誰もが住みやすいまち」へと働きかけをしていくことができる仕組みづくりに努めた。

今後、コロナ禍後での生活再建が困難な方々が顕著化することを念頭に、だれもが気軽に相談しやすい窓口を目指す。

### 1. 生活困窮者自立支援事業

(1) 自立支援事業(市受託事業) ◆令和2年度利用者実数：139件

相談・支援内容と件数(延べ数)

相談・支援内容	元年度	2年度	相談・支援内容	元年度	2年度
電話相談・連絡	254件	428件	支援調整会議(評価実施)	14件	4件
訪問・同行支援	102件	103件	その他の機関との会議	12件	6件
面談	128件	225件	他機関との電話照会・協議	258件	245件
所内会議	5件	8件	その他	22件	18件
支援調整会議(プラン策定)	8件	7件	計	803件	1,044件

(2) 就労準備支援事業(市受託事業) ◆令和2年度利用者実数：3件

相談・支援内容と件数(延べ数)

相談・支援内容	元年度	2年度	相談・支援内容	元年度	2年度
電話相談・連絡	4件	9件	支援調整会議(評価実施)	1件	0件
訪問・同行支援	8件	7件	その他の機関との会議	0件	0件
面談	0件	3件	他機関との電話照会・協議	2件	1件
所内会議	0件	0件	その他	0件	0件
支援調整会議(プラン策定)	0件	1件	計	15件	21件

(3)家計改善支援事業(市受託事業) ◆令和2年度利用者実数 : 8件

相談・支援内容と件数(延べ数)

相談・支援内容	元年度	2年度	相談・支援内容	元年度	2年度
電話相談・連絡	43件	10件	支援調整会議(評価実施)	1件	1件
訪問・同行支援	22件	26件	その他の機関との会議	0件	1件
面談	58件	25件	他機関との電話照会・協議	32件	18件
所内会議	0件	0件	その他	3件	1件
支援調整会議(プラン策定)	4件	5件	計	163件	87件

2. 生活福祉資金貸付事業(高知県社協受託事業)

低所得者・高齢者・障害者世帯の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加促進を図ることを目的とした貸付制度。

特別貸付として、コロナ禍のために失業や休業状態となり収入が減少し生活に困窮する方に対し、緊急かつ一時的な生活費(緊急小口資金)、生活再建までの一定期間の生活費(総合支援資金)の貸付を実施、受付窓口を拡大して相談受付に対応した。

※総合支援資金利用の場合は、生活困窮者自立支援事業の支援も併用。

◆貸付相談等件数

	元年度(件)			2年度(件)		
	来所	電話	計	来所	電話	計
生活福祉資金(総合支援資金)	4	2	6	257	515	772
生活福祉資金(福祉資金・緊急小口資金)	49	85	134	155	360	515
生活福祉資金(教育支援資金)	2	16	18	0	0	0
生活福祉資金(不動産担保型生活資金)	0	0	0	0	0	0
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	0	0
その他制度全般相談	20	28	48	4	78	82
計	75	131	206	416	953	1,369

◆新型コロナウイルス関連資金貸付件数(貸付決定件数)

	元年度		2年度	
	件数	金額	件数	金額
緊急小口資金	1件	200,000円	161件	28,900,000円
総合支援資金	0件	0円	169件	130,320,000円

※重複貸付を含む。

◆本年度貸付件数(新型コロナウイルス関連貸付を除く。)

	元年度		2年度	
	件数	金額	件数	金額
福祉資金	1件	200,000円	4件	201,000円

3. 日常生活自立支援事業(高知県社協受託事業)

地域の中で生活する判断能力が不十分な方の福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等を通じて相談援助活動に努めた。

◆契約及び相談等件数

	年度	認知症高齢	知的障害	精神障害	その他	計
契約締結	元年度	3件	0件	6件	0件	9件
	2年度	2件	0件	2件	3件	7件
相談援助	元年度	314件	446件	476件	14件	1,250件
	2年度	262件	480件	469件	37件	1,248件
	年度	実利用者数	支援時間数	貸金庫利用者件数		
一般世帯	元年度	29人	437.5時間	5件		
	2年度	26人	408.0時間	3件		
生活保護	元年度	17人	452.5時間	4件		
	2年度	15人	445.0時間	4件		

4. 須崎市相談支援事業(市受託事業)

相談支援専門員を配置し、身体・知的・精神障害者(児)の日常生活上の支援並びに相談や交流活動等のサービスを提供することにより、社会復帰及び社会参加の促進に努め、須崎市における障害児・者相談支援の総合的展開を図った。

◆相談件数等(延べ数)

相談内容	件数(件)		相談内容	件数(件)	
	元年度	2年度		元年度	2年度
福祉サービスの利用に関する事	1,565	1,993	生活技術に関する事	248	391
障害や症状の理解に関する事	471	943	就労に関する事	139	175
健康・医療に関する事	996	1,235	社会参加・余暇に関する事	324	433
不安の解消・情緒安定に関する事	363	694	権利擁護に関する事	7	6
保育・教育に関する事	105	166	その他	939	976
家族関係・人間関係に関する事	376	444	合 計	5,982	7,968
家計・経済に関する事	449	512			

◆モニタリング・支援計画作成等件数

障害者(児)		総利用者 件数(人)	モニタリング 件数(件)	支援計画作成 件数(件)
障害者	元年度	289	183	106
	2年度	123	254	94
障害児	元年度	93	57	36
	2年度	50	81	40

5. おすそわけソーコ

地域や企業、家庭で余っている食料品をご寄付いただき、様々な理由で生活に困窮し、食べるものにも窮している方に食料品を提供することで、生活基盤を支える活動の一環として実施。主に、缶詰・アルファ米・カップ麺などを備蓄。

## 指定訪問介護事業所の運営

### 【目標】

利用者が在宅で自立した日常生活を営めるよう、適切なサービス提供に努め「住み慣れた家庭で自分らしく暮らすことができる生活環境づくり」を目指します。

### 【重点目標】

- I. 適切な生活援助と総合的サービスの提供
- II. 衛生管理と職員のスキルアップ
- III. 指定訪問介護事業所の適正経営

#### 【目標・重点目標】に対する現状と課題

目標である利用者が在宅生活において、安心して自立した日常生活が送れるように、本人の意思を尊重し、利用者一人ひとりのニーズに応じたサービスの提供に努めた。

コロナ禍の中での活動となったが感染症対策については、日頃から職員はもとより利用者の日常的な衛生管理の徹底にも努めているために、大きな混乱もなく実施できた。

ここ数年は、介護度が上がった利用者の入院や施設入所の割合が増えていることもあり、まだまだ経営が厳しい現状は続いている。経費削減や自主事業の実施などに努め、経営安定を図っているが、訪問介護員(登録ヘルパー)の高齢化や人材不足の課題も残る。

今後においては、地域の保健・医療等の密な連携を図り、効率よく質の高いサービスの提供が実現できる体制や仕組みを構築するとともに、安定で効率的な経営状況のもと、住民から信頼される指定訪問介護事業所を目指す。

### 1. 指定訪問介護事業所及の適正運営

#### (1) 高齢者訪問介護事業(介護保険事業)

介護保険法に基づく「指定訪問介護事業所」として須崎市保健、医療、福祉サービス事業者との連携を図り、適正な運営体制の確立と要介護者、要支援者に対し常に利用者の立場に立ったサービス事業の提供に努めた。

年度	件数(件)	実績(円)	介護報酬(円)	自己負担(円)
元年度	1,036	25,509,875	23,232,499	2,277,376
2年度	1,094	24,585,541	22,445,537	2,140,004
比較増減	58	△924,334	△786,962	△137,372

#### (2) 障害者訪問介護事業(障害者総合支援事業)

身体・知的・精神障害者(児)が日常生活を営むことができるよう、「障害者福祉法」に基づく居宅介護サービスを適正に提供するとともに、須崎市保健、医療、福祉サービス事業者との連携を図り、常に利用者の立場に立ったサービス事業の提供に努めた。

年度	件数(件)	実績(円)	介護報酬(円)	自己負担(円)
元年度	149	10,195,480	10,177,670	17,810
2年度	175	12,170,710	12,128,034	42,676
比較増減	26	1,975,230	1,950,364	24,866

### (3)移動支援事業(市受託事業)

屋外での移動が困難な障害者(児)の方に対し、外出のための支援を行うことにより、地域における自立した生活や社会参加を促すことに務めた。

年度	件数(件)	時間数(H)	実績(円)
元年度	35	164.0	491,750
2年度	35	194.75	580,550
増減	0	30.75	88,800

### (4)須崎市産前産後ヘルパー派遣事業(市受託事業)

妊娠中や出産後の体調変化により、家事や育児がしづらくなる方に、ヘルパーが訪問し家事や育児などの生活の手助けをする事業。須崎市在住の妊娠中(母子健康手帳取得後)から子どもが6か月になる前日までの期間、1回2時間500円の利用料で32回まで利用できる事業。

年度	件数(件)	時間(H)	委託料(円)	自己負担(円)	計(円)
元年度	24	180.75	252,900	45,000	297,900
2年度	23	142.5	280,800	26,000	316,800
増減	△1	△38.25	55,800	△19,000	18,900

### (5)自費ヘルパー派遣事業(自主事業)

介護保険等の対象外の方で、身体介護や家事援助を訪問介護員一人当たり、30分900円(以降15分単位)と1回100円の交通費を自費で利用できる事業。

年度	件数(件)	時間(H)	自己負担(円)	交通費(円)	計(円)
元年度	64	211.75	381,150	21,600	402,750
2年度	66	171.50	371,800	38,400	410,200
増減	2	△40.25	△9,350	16,800	7,450

## 須崎市地域包括支援センター

### 【目標】

高齢者の「医療」「介護」「生活支援」「介護予防」「すまい」について、包括的及び継続的な支援を行う「地域包括ケアシステム」を構築し、高齢者が住み慣れた地域で、人とつながり、地域とつながり、尊厳をもって自分らしく生活できる、地域共生社会に向けた地域づくりを目指します。

### 【重点目標】

- I. 高齢者の自立支援、介護予防・重度化防止の推進
- II. 高齢者の尊厳を支える体制の構築
- III. 生活支援体制の構築

#### 【目標・重点目標】に対する現状と課題

令和2年度の取組は、上記重点目標を基に、「認知症」「権利擁護」の取組を中心に、それらの課題を切り口として、「包括的・継続的ケアマネジメント事業」「在宅医療・介護連携推進事業」「地域ケア会議」「指定介護予防支援事業」等について、一体的に取り組み、「認知症支援体制」「権利擁護支援体制」を確立することを目的に各事業を展開する予定であったが、コロナ禍のため多くの事業が中止となり、関係機関との連携・地域包括支援センターの体制の課題等もあり十分な取組が出来なかった。

#### 1. 地域包括支援センター事業の運営(市受託事業)

高齢者の「医療」「介護」「生活支援」「介護予防」「すまい」について包括的及び継続的な支援を行う「地域包括ケアシステム」を構築し、高齢者が住み慣れた地域で、人とつながり、地域とつながり、尊厳をもって自分らしく生活できる、地域共生社会に向け、地域包括支援センターは、地域包括ケアシステムの推進を担う中核機関として、地域住民一人ひとりの個別的なサービス調整、地域におけるネットワークの構築・再生等、個人と地域が抱える幅広い生活課題、社会的孤立、社会参加の確保等、様々な高齢者の課題解決に応えることのできる、高齢者福祉の“ワンストップサービスの拠点”としての事業運営を図る。

##### (1)包括的・継続的ケアマネジメント事業

内容	備考
居宅介護支援事業所連絡会	3回(9/7・1/21・3/18) 78人
居宅介護支援事業所事例検討会	4回(8/11・10/13・12/8・2/9) 46人
通所・訪問・居宅介護支援事業連絡会	中止

##### (2)権利擁護事業

内容	備考
市民対象権利擁護啓発	市広報誌にて市民向け権利擁護の啓発を実施。
事業所向け高齢者虐待防止研修	中止
事業所向け成年後見制度権利擁護講座	中止

##### (3)在宅医療・介護連携推進事業

内容	備考
医療・介護関係者の連携推進	3市町(須崎市・中土佐町・津野町)における、入退院連絡実施要領運用状況に関するアンケート調査を実施。分析及び介護支援専門員、病院への報告。

(4) 認知症総合支援事業

内容	備考
認知症初期集中支援推進事業	対象者 3人 認知症初期集中支援チーム員会議 10回
認知症講座	中止
認知症サポーター養成講座	2回 43人(まちなかサロンサテライト山手町・市役所)
認知症ケア実務者研修	中止

(5) 地域ケア会議

内容	備考
個別ケア会議	10回 10ケース

(6) ボランティア団体等の育成支援

内容	備考
傾聴ボランティア養成講座	中止。
傾聴ボランティア交流会	中止。

(7) 介護予防ケアマネジメント業務

元年度		給付額(円)	件数 (件)	2年度		給付額(円)	件数 (件)
委託	新規	14,610	2	委託	新規	14,620	2
	継続	81,810	19		継続	94,820	22
	計	96,420	21		計	109,440	24
包括 直営	新規	1,205,350	165	包括 直営	新規	1,264,630	173
	継続	15,175,120	3,525		継続	16,214,220	3,762
	計	16,380,470	3,690		計	17,478,850	3,935
総計		16,476,890	3,711	総計		17,588,290	3,959